

「姉妹都市解消、撤回を」

友好の歴史無に帰す

市民団体 吉村市長に申し入れ、宣伝

米サンフランシスコ市長が日本軍「慰安婦」像の奇贈を承認したことに対し、「事実関係の不確かな主張を歴史的事実として広めることは日本へのバッシングだ」として、吉村洋文大阪市長が、1957年から60年間続いてきた姉妹都市を解消すると表明したことを受け、市民からの抗議や宣伝が相次いでいます。

稚拙な態度で歴史歪める

大阪市をよくする会 福井事務局長

大阪市をよくする会は8日、福井朗事務局長名前で、談話を発表しました。

親善交流が行われてきた「姉妹都市の意義をわき

過去に向き合わぬ者に

女性差別断ち切れない

各団体が抗議

談話では、大阪市が現在、姉妹都市提携を結んでいる8都市でサンフランシスコ市が最も長く、「両都市の文化交流や親善の歴史は市民同士の友好の歴史でもあり、市長の一存で一瞬にして無に帰すことは許され」ない」と指摘。「歴史認識」や「政治的な考え方の違いを理由に解消することは、考えの違いを超えて

7日には、日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワークが呼び掛けで府内の各団体が、市長への抗議申し入れとともに、大阪市役所前でスタンディング。9日夜には、「姉妹都市解消に抗議する市民有志の会」がJR大阪

団体が賛同。30人以上が大阪市役所に詰めかけ、対応した政策企画室職員に各団体の抗議文、要請書を読み上げるとともに、参加者一人一人が「市長の独断で積み重ねてきた姉妹都市の関係を解消するのは許されな

「日本が過去にやってきた事実を伝えてくれていたサンフランシスコ市に感謝こそすべきた」などと述べました。「関西ネットワーク」は抗議文で、2013年5月の橋下氏の「慰安婦」発言後、サンフランシスコ市が橋下氏の視察を拒絶し、発言撤回を求める決議を全会一致で採択したことに対し、橋下氏が3度にわたって書簡を送り、審議に圧力をかけたことに触れ、「吉村市長は、その後を引き継いでやっている」と指摘しています。

その上で吉村市長に対し、「偏狭で、わい曲された歴史観の過ちに気づき、60年間もの間、多くの市民が育んできたサンフランシスコ市との姉妹関係を安易に断ち切ることをただちに止めるべき」としています。新婦人府本部は要請書で、「国際社会では、日本軍「慰安婦」問題は国が行った戦時下における女性への重大な性暴力の問題としてひろく知られている」と指摘。「国際都市をめざす大阪市が、積み重ねてきた両都市の友好と交流のリーダーシップを発揮することが、ますます求められている」とした上で、姉妹都市解消を撤回を求めます。

姉妹都市 解消撤回の決議案を否決

大阪市議会本会議 山中市議団幹事長が討論



山中智子市議

米サンフランシスコ市の「慰安婦」像の市有化で、吉村洋文大阪市長が

両市の姉妹都市提携を解消する意向を示す中、12日の大阪市議会本会議で、日本共産党が提出した「姉妹都市提携解消の撤回を求める決議案」は、同党以外の反対多数で否決されました。同党の山中智子幹事長

は解消撤回を求める決議案への賛成討論で、吉村氏が「慰安婦」像の碑文に「不確かで一方向的な主張だ」とクレームをつけたことに関して、河野官房長官談話(1993年)、東京高裁判決(2003年)などを紹介。さらに今回の「慰安

「慰安所」の設置や「慰安婦」の移送に旧日本軍が直接・間接に関与し、多くが強制的に連行されたこと、生活も極めて屈辱的だった。これらにこそ問題の本質がある」と強調しました。

「慰安所」の設置や「慰安婦」の移送に旧日本軍が直接・間接に関与し、多くが強制的に連行されたこと、生活も極めて屈辱的だった。これらにこそ問題の本質がある」と強調しました。

山中氏は、そもそも姉妹都市提携は文化や歴史、政治的な考え方の違いを超えて、都市間・市民間の友好・親善の絆を結び、強めるという互いの意志の下に成り立つと力説。「政治的な考え方の違いを理由に解消するこ

とは、およそ地方自治体の長のなすべきことではない」と断じました。本会議では、像の撤去などに取り進むよう国に求める意見書案(自民提出)、像の受け入れなどに反対する決議案(同)を、日本共産党以外の賛成多数で可決。姉妹都市提携解消を求める決議案(維新提出)、姉妹都市交流継続を求める決議案(自民提出)は、いずれも反対多数で否決されました。



姉妹都市解消撤回を求めて大阪市役所前で抗議のスタンディングをする人たち=7日、大阪市北区内